

2027年度 入試説明会資料



生徒と共に…未来に挑戦!

江戸川学園取手中学校

目 次

- 2027年度中等部入試・合格発表・手続の流れ …………… P. 1～2
- 中等部入試問題の出題傾向と特色 …………… P. 3～8
- 入学試験Q & A …………… P. 9～15
- 2026年度中等部入試結果 …………… P. 16～20
- 入試説明会開催日 …………… P. 21～22





2027年度中等部入試日・出願期間

入試要項 P.1

	受験型			入試日	出願期間
適性型入試	-	-	適性型	12月12日(土)	開始 11月1日(日) 9:00 締切 12月11日(金) 11:00
1月8日入試	4科目型	英語型	-	1月8日(金)	開始 11月1日(日) 9:00 締切 1月7日(木) 11:00
1月17日入試	4科目型	英語型	-	1月17日(日)	開始 11月1日(日) 9:00 締切 1月16日(土) 11:00
1月25日入試	4科目型	英語型	-	1月25日(月)	開始 1月17日(日) 9:00 締切 1月24日(日) 11:00
2月5日入試	4科目型	英語型	-	2月5日(金)	開始 1月25日(月) 9:00 締切 2月4日(木) 11:00

受験料	①1回のみ受験	20,000円
	②複数回受験(2回～5回全て同額)	30,000円
<p>※1回のみ受験料20,000円をお支払後、追加で出願される場合は、お支払は10,000円です。 ※すでに30,000円をお支払いいただいている場合は、0円となります。</p> <p>※複数回受験は何回受験しても、受験料は最大で30,000円です。</p> <p>※1月25日・2月5日の入試は、出願受付スタートが他の入試と異なりますのでお間違いのないように気をつけてください。</p>		

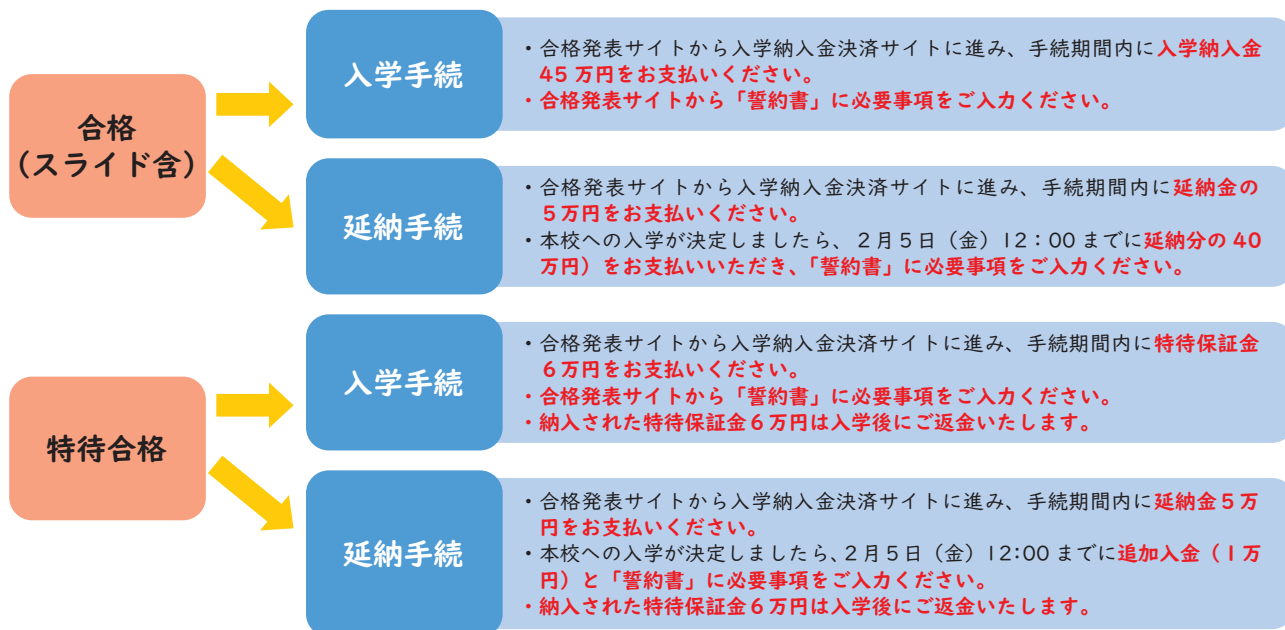


入試日・合格発表日・手続き日

入試説明会資料 P.1

	適性型入試	1月8日入試	1月17日入試	1月25日入試	2月5日入試
入試日	12月12日(土)	1月8日(金)	1月17日(日)	1月25日(月)	2月5日(金)
合格発表日	12月16日(水)	1月9日(土)	1月18日(月)	1月26日(火)	2月6日(土)
手続き日	12月16日(水) 12:00 ～ 12月17日(木) 23:59まで	1月9日(土) 12:00 ～ 1月10日(日) 23:59まで	1月18日(月) 12:00 ～ 1月19日(火) 23:59まで	1月26日(火) 12:00 ～ 1月27日(水) 23:59まで	2月6日(土) 12:00 ～ 2月7日(日) 9:00まで
	<p>①本校ホームページ「入学金決済サイト」より、入学金または延納金のお支払いを行ってください。 合格発表・手続はホームページ上のみです。(校内での掲示発表は行いません)</p> <p>②入学手続の場合「合格発表サイト」より、「誓約書」に必要事項をご入力ください。</p> <p>③上記2日間の手続期間内に、入学手続または延納手続が完了しない場合は一切の手続を辞退したものとみなしますのでご注意ください。</p>				
延納手続後に入学手続を行う場合	<p>■2月5日(金)12時までに、入学金決済サイトから延納分の40万円をお支払後、「合格発表サイト」から「誓約書」に必要事項をご入力ください。</p> <p>■2月5日の入試において、再チャレンジされる場合も2月5日(金)12時までに入学手続を完了してください。</p>				入学手続のみ

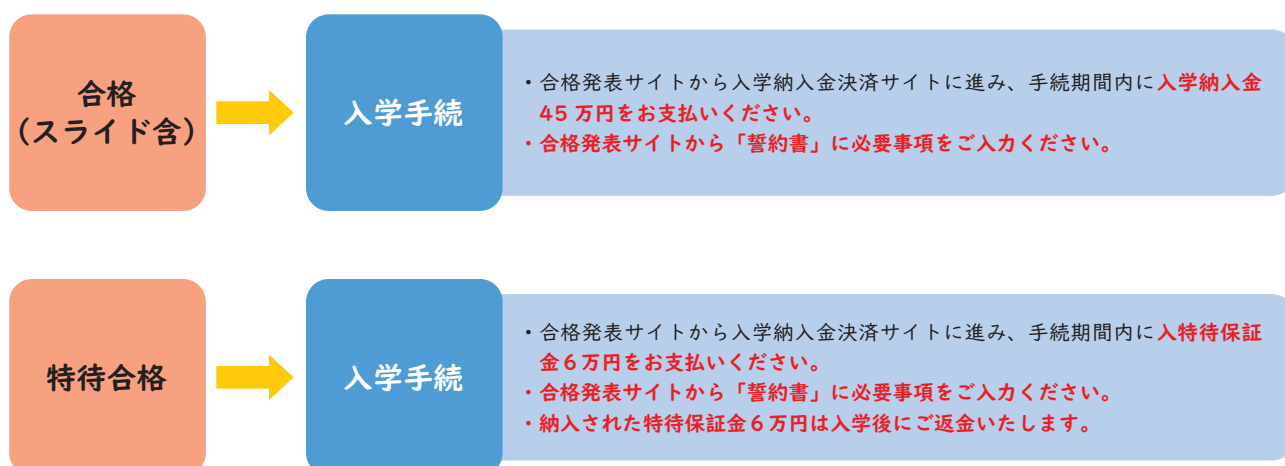
中等部入学手続の流れ(入試日12月12日・1月8日・1月17日・1月25日)



〈延納手続後、入学手続をされる場合〉

- **2月5日(金)12時まで**に合格発表サイトから入学納入金決済サイトに進み、手続を行ってください。
- 入学手続が期間内に完了しない場合は、一切の手続を辞退したものとみなしますのでご注意ください。

中等部入学手続の流れ(入試日2月5日)



入学手続日時	2月6日(土)	12:00~
	2月7日(日)	9:00まで

中等部入試問題の出題傾向と特色

【国語】

「思考力・判断力・表現力」が要求されます。それを踏まえ、本校が受験生に求めたいのは、少々難しい文章でもあきらめずに内容を考えながら読み進めていく力であり、そこで筆者が何を伝えようとしているのかを見極める力であり、自分が考えた内容を正しく人に伝えようとする力です。入試問題もそうした力を確認するための出題となっています。

<問題構成>

長文読解の総合問題を二題出題します。文学的な文章（小説または随筆）が一題、論理的な文章（評論等）が一題です。小学生にとっては手強い文章が出題されることもありますので、普段から難しめの文章に慣れておく必要があるでしょう。漢字やことわざ、慣用句、語句の意味といった基本事項を問う設問から、標準的な読解問題、思考力を問う出題まで多様な視点から学力が試されます。単純な暗記だけでは高得点は取れません。第二問の最後の問題は要約問題または記述問題で、百字以内で解答することを求めます。

<問題傾向>

- ①文学的な文章では主に、話の筋を正しく把握できているかを問う問題や、登場人物の行動の理由や心情を読み取る問題などを出題します。読み手が勝手な解釈をするのではなく、書き手がどういうことを書こうとしているのかを読み取れているかどうかを問います。
- ②論理的な文章では、どのような具体例を挙げているか、何について説明しているのか、同じ内容を言い換えているところはないかなど、オーソドックスな出題が主となりますが、よく考えて解答しないとミスをする問題もあります。
- ③選択問題、論述問題、抜き出し問題いずれもあります。論述問題は条件を正確に把握すること、抜き出し問題は正確に抜き出すことを意識しましょう。
- ④漢字の書き取り問題は一割程度の配点で出題します。
(トメ・ハネ・ハライなどの細かな部分は不問としますが、一点一画を疎かにせず、読みやすい文字を書くことが大切です)
- ⑤慣用句、ことわざ、四字熟語などの知識問題も出題します。文学史の問題は出題しません。
- ⑥論述問題（文章要約や筆者の主張のまとめなど）を出題します。範囲指定された文章を八十字～百字以内でまとめる問題です。指定された条件に従い、内容を整理して書きましょう。

<求める力・学習における注意点>

- ①語彙力を身につけましょう
多くの言葉の意味を知っていることは思考力を高める上で大切です。歯ごたえのある書物をじっくりと読むことで、知っている言葉、使える言葉が増えます。辞書をいつも手元に置き、知らない言葉の意味を調べる習慣をつけましょう。また、ことわざ、慣用句、故事成語、対義語、同音異義語などの知識を増やし、読解力と表現力を高めてください。
- ②文章を考えながらじっくりと読みましょう
難しい内容の文章であっても、安易に投げ出さず、文章の内容について理解できるまで考えながら読む習慣を身につけてください。思考力は、自分にとって難しいと感じるレベルの本に取り組むことで身に付きます。
- ③正確で分かり易い文章を書きましょう
自分の考えは、書くことによって初めて明確になります。正確な文章を書くということは、物事について正確に考えるということにつながります。正確で分かり易い文章を書く力は一朝一夕では身に付きません。国語の問題を解くときは、必ずノートに答えを書きましょう。自分の答案を先生に添削してもらうことも、表現力を高める上でとても役に立ちます。また、正確な文字を書くことも国語の大切な力です。漢字はもちろん、仮名についても丁寧に、その言葉の意味を考えながら書くように努めましょう。

【算数】

中等部では数学を苦手教科にせず、得意教科にすることが大切です。中学入試の時点から教科書や参考書の学習内容に漏れがなく、本質を理解した上で基礎学力を定着させることが必要です。その基礎学力となる内容が中等部での学習につながるものであるため、中等部入試では基本的な学習内容を中心に出题しています。

まず、授業を第一とすることが大切です。授業を真剣に受ける姿勢が学力を向上させます。授業でインプットしたことを復習し、アウトプットできるようにすることで確実に授業内容が定着します。

次に、“自分で考えて取り組む”主体的に学習する姿勢を身につけることが必要です。学校での授業を踏まえて、予習や復習を行う姿勢を身につける習慣を付けましょう。問題演習を行う際には、他の人に説明するように分かりやすくまとめることを心がけることで、自分の考えたことが端的に伝わる答案を書くことができるようになります。

数学は「考え方」を学ぶ教科です。中等部では、学習指導要領に記載されているように「数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成すること」を目指しています。数学の学習を通して、与えられた情報をどのように分析し、組み合わせ、問題を解決していくのかを学んでもらいたいと思います。教科書で学ぶ基本事項をスタートとして、奥深い数学の世界で頭を使い様々な問題を自分の力で解くことを楽しめるような生徒の入学を期待しています。

<問題構成>

試験時間は50分で、100点満点です。大問を6題出題する予定です。解答形式は、答えのみ解答する問題と、途中計算や思考過程も含めて解答する問題があります。作図問題（図や線を描いて解答する問題）が出題される場合がありますが、フリーハンドで解答できる出題形式となっています。また、必要な単位についてはあらかじめ解答用紙に印刷してあります。

<問題の傾向>

大問Ⅰは、四則計算と小問集合を出題します。基本問題を出題しますが、毎年計算ミスなどが目立ちます。基礎を確実に固め、本番で確実に得点できるように、多くの問題を解き練習しておくことが必要です。加えて、日々の計算練習も欠かせません。計算問題で練習するだけでなく、応用問題を解くときにも自分の手で最後の答えまでたどり着けるように心がけて学習することも大切です。

応用問題は5題出題する予定です。出題範囲は過去問題集でも分析されているように、計算問題、文章題、平面図形、空間図形、場合の数、規則性に関する問題、グラフを使った問題など、さまざまな分野の問題が出題されます。偏りなくいろいろなパターンの問題を勉強しておくことが必要です。特に図形の角度・長さ・面積や場合の数、規則性に関する問題などがやや多く出題されています。

<求める力・入試で判断する力>

①偏り無く幅広く理解する力

自分の好きな分野だけではなく、苦手な分野の問題にも挑戦して克服できるようにしましょう。偏った学習を続けたまま中学受験をして合格できたとしても、入学後の学習で苦勞をすることになります。

②標準的な問題を確実に理解し解く思考力

難しそうに見える問題も、基本・標準問題の組み合わせでしかありません。見た目に惑わされずに問題文の意図を理解し、落ち着いて解くようにしましょう。使用しているテキストや参考書の問題内容を全て身につけておくことが大切です。

③素早い計算力

四則計算の問題を含め、計算力を見る問題が出題されているので、毎日の計算練習を入念に行いましょう。問題を速く解くことができれば、その分の時間を他の応用問題を解く時間にあてることができます。

【社会】

社会科の入試問題は、地理・歴史・公民の3つの分野から広く出題します。

2021年度入試以来、問題数を小問25問程度としています。また、分野別問題数としては、歴史分野からやや多めに出题しており、次いで地理分野、公民分野の順で問題数が多くなっています。

近年は、基礎的な知識・情報の理解を確認する問題だけでなく、これまでに身に付けた知識や情報を整理・分析したり、身の回りに存在する様々な社会課題について考察したりする問いの出題を増やしています。それは、変化の激しい時代を生き抜く資質・能力を備えた「心豊かなリーダー」としての《ポテンシャル》を測りたいと考えているためです。このような資質・能力は、教育改革・大学入試改革の進展に伴って大きく注目されていますが、【学校】や【入試】といった枠に囚われることなく、広く受験生の皆さんに身に付けて欲しいと考えています。

そのような観点から、既存の知識や情報を組み合わせて論理的に思考する力、そして、自らの意見や考えを筋道立てて表現する力などを測るために、記述・論述問題やテーマ文読解に関する問いの出題を増やしています。さらに、山積する課題を「ジブンゴト」と捉え、その解決に向けて前向きに行動を起こして欲しいという願いから、例年現代社会や時事問題に関する問いを出題しています。

また、漢字で解答することを求める問いを毎年必ず出題しています。それは、基本的な語句を正しく覚えることが、1つ1つの事柄の本質を理解するファーストステップであると考えているためです。従って、漢字指定の問題については、誤字や「かな」での解答は得点に結び付きません。日頃から「漢字で書けるものは漢字で書く」習慣を身につけるように心がけてください。

なお、昨年度から「試験時間40分・配点75点」となります。

以下では、各分野における出題方針について説明します。

【地理分野の出題方針】

本校の地理分野では、これまで日本地理を重視して出題して参りました。しかし、日本と世界のつながりを強く意識して欲しいという願いから、近年は世界地理に関する問いを出題することが増えており、今後もその方針を踏襲する予定です。また、身近な地域の姿に目を向けて欲しいという考えから、地形図の読図や統計データ（表・グラフ）の読み取りに関する問いを出題しています。難問や奇問は出題しません。基本的な事柄が身についているかどうかを確かめる問題が中心です。

【歴史分野の出題方針】

本校の歴史分野では、4回の入試を通して、様々な時代から出題する予定です。基本事項を正しく漢字で書けるか、歴史的な事象を正しく理解できているか、歴史的な事柄を自分の言葉で述べられるかを意識して勉強を進めて下さい。出題形式としては、選択問題・記述問題・正誤判定問題・文章記述が中心となります。知識量を問うような難問よりも、歴史を理解する上で必要な事柄を覚えているか、理解しているか、表現できるか、を問いたいと考えています。受験生の皆さんには、暗記に止まらない主体的な学習を期待します。

【公民分野の出題方針】

本校の公民分野では、以下の2つを特に重視しています。

第一に、「文章をきちんと読みこなす力」です。様々な価値観を有する人々との対立・衝突を避け、よりよい社会を作り上げるために行動することが求められる現代において、会話や文章から話し手や書き手の「メッセージ」を読み取る力は、もはや必要不可欠なものとなっています。社会の担い手たるにふさわしい読解力を身に付けて欲しいという願いから、メッセージ性の高い文章を読んで解答を導き出す問いを出題しています。

第二に、小学校修了段階で身に付けて欲しい公民的素養として、「日本国憲法に関する基礎的・基本的な知識を理解する力」です。本校の入試問題では、伝統的に日本国憲法の理解に関する問題を多く出題しています。条文の暗記といった表面的な理解に留まることなく、日本国憲法に込められた理念やその特徴について深く理解して欲しいと考えています。

【理科】

＜本校理科のアドミッション・ポリシー＞

本校理科においては「日常生活と社会との関連を図りながら自然科学への関心を高め、目的意識を持って実験・観察などを行い、探求する能力と態度を育てるとともに、基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。」という目標に沿って、中等部・高等部ともに日々の学習指導が実践されています。

理科（自然科学）とは、生物と環境、物質とエネルギー、地球と宇宙など、私たちをとりまく自然の謎を解き明かし、人類の英知を高めると同時に、広く社会の進歩に貢献することを目指す学問です。そのような目的を達成するためにも、本校理科としては次のような人の入学を求めています。

- ・自然界の不思議に関心を持ち、それらを解明したいと思っている人
- ・理科（自然科学）に魅力を感じ、もっと学びたいと思っている人
- ・理科（自然科学）を勉強し、社会の様々な分野で貢献したいと思っている人

※昨年度から「試験時間 40 分・配点 75 点」となります。

＜出題の目的＞

上記のアドミッション・ポリシーの内容を確認するため、中等部入試問題においても「実験・観察・観測を通して文章や表、グラフから科学現象を読解する力」「科学的な思考力」「計算力」など、自然科学を多角的に考えることができる力を身に付けているかを判断する作問を行っています。

＜問題構成＞

大問の数は 4 問です。出題範囲は、「運動とエネルギー」、「物質と変化」、「生物と環境」、「地球と宇宙」です。小問の数は 25 問程度となります。解答形式は記号選択や適語の記入、計算問題、文章による記述問題、作図やグラフの記入などです。大学入試等の変化を受け、より思考力を要する出題になっています。下記①～④の各分野について、実験・観察・観測を通して、文章や表、グラフから科学現象を読解する力や、科学的な思考力、計算力をみる問題を出題します。

- ①物理分野である「運動とエネルギー」からは力と運動、電気と磁石、光と音に関する問題
- ②化学分野である「物質と変化」からは気体・水溶液・金属の性質や溶解・燃焼に関する問題
- ③生物分野である「生物と環境」からは人体や植物、動物に関する問題
- ④地学分野である「地球と宇宙」からは天体、気象、地形に関する問題

＜求める力・学習における注意点＞

学習方法で大切なことは、断片的な知識を暗記していくのではなく、さまざまな現象について「なぜだろう？」「どうして？」という気持ちを持ち続けながら、その疑問を解決していくことです。単なる知識の暗記ではなく、正しく論理立てて考え、疑問を解決していくような力をつけてください。また、早く正確に解ける計算力もつけるよう心がけてください。より思考力を試す問題となっていますから、過去問の中でも比較的難易度が高い問題にチャレンジして学習してほしいと思います。

【英語】（英語型入試）

- ・江戸取では、高いコミュニケーション能力や多様な文化・価値観を理解する柔軟な知性を備えた国際社会の礎として活躍できる「心豊かなリーダーの育成」を目指しています。
- ・入試においては、言語としての英語の知識だけではなく、論理的に物事を考える力や、コミュニケーションツールとして英語を運用できる力を試します。

英語型の受験には、インターネット出願ページ内の「英語学習履歴書」の入力が必要です。英検などの検定試験の級やスコアの証明書がある場合は添付してください。「英語学習履歴書」の内容と当日の入試を合わせて総合的に合否判定を行います。

- ① 出題レベルは、CEFR(国際標準規格)で A 1 から A 2 程度、実用英語検定で 3 級から準 2 級程度となります。ただし、マーク形式ではなく、選択式と記述式を併用します。小学 6 年生という年齢を考えて、極端に抽象度の高い英文や難単語は出題しません。
- ② 語彙力を試す問題を出題します。日常生活で使用するような語句を正しい綴りで書けるかどうかを確認する問題です。
- ③ 文法知識が身に付いているかを測る問題を出題します。文法問題は、4 択式・共通語句選択・並べ替え・正誤指摘等、様々な形式の中から出題します。
- ④ 英文読解能力を測る問題を出題します。小説・エッセイ・論説など、幅広い分野からの出題になります。英文の内容が理解できているかを確認します。
- ⑤ 思考力や表現力を問う問題を出題します。例えば、英語の説明文を読んで何が説明されているかを答えたり、意味の通る会話になるように質問と応答を組み合わせたり、自分の考えを英語で述べたりするなど論理的に物事を考えることができるかどうかを確認します。
- ⑥ 放送機器を用いた、いわゆる「リスニング」の出題が 15 分程度あります。

以上、多岐に渡る出題形式により、総合的な英語力を測ります。特に、思考力や表現力を試す問題の配点が高くなっています。そのことを踏まえた上で学習に取り組んでください。

適性型

【適性 A】

<概要>

適性 A では、文章資料、非文章資料の両方において、それらを読み解く力、複数の資料を比較し結びつける力、文章資料を読んで自分の考えを書く力を問う問題が出題されます。大問は 2～3 題で構成されており、問題は論述問題が中心となります。具体的には、私たちが生活する社会の課題とその解決策に対して日常的に関心を持ち、考えることができているか、そして、それを自分の言葉で伝えることができるかを問うていきます。

2026 年度入試では、第 1 問で地理歴史や公民などの社会的事象を含んだ文章や資料から要点を抽出し、それを自分の言葉でまとめる力が、第 2 問では資料等を読んで自分の言葉で説明する力や情報を読み取ってまとめる力が、第 3 問では比較的長い文章内容をまとめたうえで、自分の意見を表現する力が問われています。これらの過去問題を参考にして、日常的な課題を様々な角度から読み取り、自分なりの答えを見つけ出す力を養っておくようにしてください。

<課題文型作文について>

(1) 受験生に求める力・・・①読解力 ②思考力 ③表現力

与えられた文章を読み、筆者の主張を読み取ったうえで、自分の考えや意見を表現するという力が求められます。自分の考えや意見を他者に伝えるためには、工夫が必要です。例えば、あるテーマについて「私は～すべきだと考える」とか「私は～したいと思う」という意見だけでは説得力に欠けます。大切なのは、その主張を裏付ける根拠や具体例となる事柄を示すことです。これまでに自分が経験したことや見聞したことなどを文章に入れることで、文章にその人ならではの独自性や説得力が出てきます。普段の読書活動や問題演習などの際にも、文章をなんとなく読むのではなく、問題意識を持ち「自分ならどうするか」や「どう考えるか」と自問自答してみる習慣を付けると良いでしょう。文章を他人事ではなく自分事として理解するいわば「パーソナル・リーディング」を行って下さい。また、自分が書いたものは必ず周囲の大人の人に見せて、添削や助言をもらいましょう。自分では書けた、もしくは表現できたつもりでも、それを読んだ相手はその通りに理解したかどうかは分かりません。作文の力は、書くことでしか身につけません。ぜひ失敗を恐れずに自分の考えや意見を他者に向けて表現する練習をしておくようにしましょう。相手に伝わる文章を書くことを意識して練習に励むことで表現力が磨かれていくはずです。

(2) 書く際の注意事項

- ① 解答用紙は、横書きです。
- ② 文字数や段落構成などは、設問の条件に従ってください。
- ③ 小学校で習う漢字は、できるだけ漢字を使いましょう。
- ④ 表現を書き直したり、付け加えたりする場合は、二重線で訂正するのではなく、消しゴムで消した上で書き直してください。

【適性B】

適性Bは、身の回りにあるもの、出来事などを対象に算数や理科の知識をもとに考えるものになります。身の回りにあるものの規則性を発見し、また、自然の変化を深く知るためには、問題を発見する力、データを収集する力、まとめる力、規則性を見出す力、表現する力が必要になります。このような力を図ることが本試験の目的になります。本試験を受験する際には、以下の3点を意識していただきたいと考えています。

- ① 文章をよく読む（読解力）
- ② 設定を理解する（理解力）
- ③ 知識を重ね合わせる（思考力）

問題文は会話文形式で構成されており、会話の中にある空欄補充問題、計算問題などが主なものですが、中には考えを文章や図、グラフで表現するものも含まれます。どの出題についても、会話文からの出題が中心となっていますので、会話文をよく読んで情報を整理し、何を聞かれているのか、何をまとめるのか、どう答えるのかを判断することが大切です。

【算数】

問題文にある会話の内容や図、資料をよく読み、そこから必要な情報を整理して結び付け、算数を利用して問題を解決していく力を問います。常日頃から数学的な関心を高めておくこと、例えば紙を折る手順の違いでどのような図形が得られるか考えるなどの姿勢を求めます。

また規則性に関する問題などでは、答えに至るプロセスを重視し、高い論理的思考力が必要な問題も出題しています。

複雑な計算が必要な問題を出題する可能性もあります。十分計算練習をするよう求めます。

【理科】

リード文をよく読み、必要な情報を読み取る力、グラフを読み取る力、現象を想像する力などが問われます。今まで習ったことがない内容も出てきますが問題文に書いてあることや今まで習ってきた知識を使って必ず解けるようにできています。

いわゆる「思考力」が問われるので、問題の解き方をやみくもに覚えてしまうような学習だと本試験で高得点を取るのは難しくなります。なにより、様々な事に興味を持って主体的に学ぶことが高得点の鍵となりますので、日常的な様々な現象に疑問を持って学びを深めていきましょう。

江戸川学園取手中学校 入学試験 Q & A

【コース制について】

Q1. 入学後にコースの変更は可能ですか。

- A. 本人の希望と成績など、一定の条件を満たせば年度ごとにコース異動も認めています。中高時代は本当の自分に出会うための適性や可能性を発見してほしい、早い時期から本気で自分の将来を考えてほしいということでコース制になっています。早い段階で自分の志望を絞り込むことは、生徒たちの夢を現実化するなによりの力になると考えています。志をともにする仲間たちと刺激し合いながら勉強にも真剣に取り組めるように、学校も全力でサポートしていきたいと考えています。

Q2. 各コースの基準点はどのくらいですか。

- A. 全受験生の平均点を5割としたとき、医科・東大ジュニアコースの合格点は約7割、難関大ジュニアコースの合格点は約6割を想定しています。

Q3. スライド合格はありますか。

- A. あります。東大ジュニアコースまたは医科ジュニアコースの基準に届かなくても、難関大ジュニアコースの基準に達していればスライド合格となります。その逆はありません。

Q4. スライド合格になった場合、希望のコースに再チャレンジはできますか。

- A. できます。スライド合格になった場合、その後に行われる入試で希望のコース（東大ジュニアまたは医科ジュニア）に再びチャレンジできます。再チャレンジを希望される場合は、受験を希望する入試回の出願期間中に追加出願をしてください。再チャレンジの出願をされたとしても、入学または延納のお手続きをされない場合は、一切の手続きを辞退したものとみなしますので、ご注意ください。なお、再チャレンジを複数回する場合も、入学または延納のお手続きは一回のみとなります。
- *再チャレンジで希望のコースに合格したり、特待合格したりした際は、手続きの状況（入学・延納）が自動で更新されます。
- *2月5日入試での再チャレンジの場合には2月5日12時までに必ず入学手続きを完了して下さい。詳しくは入学試験要項でご確認ください。

【学校見学について】

Q1. 学校見学はできますか。

- A. できます。事前に入試担当者に電話で予約をしてください（学校代表番号0297-74-8771）。受験学年でなくても構いません。なお、感染症等の蔓延などの理由により、お断りさせていただく場合があります。ご了承ください。

Q2. 受験生が参加・見学できる行事はありますか。

- A. オープンスクール（7月）と紫峰祭（10月）が公開行事となる予定です。ただし、感染症等の蔓延などの理由により、変更の可能性がありますので、本校HPを定期的にご確認ください。

Q3. 入試説明会は何回ありますか。

- A. 本校を会場とする入試説明会は、土曜日に開催されるものが①9月12日、②10月17日、③10月31日の3回、開始時刻はいずれも9時50分です。日曜日や祝日に開催されるものが①7月12日、②9月23日、③12月6日の3回、開始時刻はいずれも9時です。教育内容の説明はもちろんのこと、学校紹介動画の上映や施設見学（土曜日開催の説明会は授業見学を含む）もあります。説明会の後には、個別相談も行います。事前の申込みが必要になるのでご注意ください。今後の情勢次第で変更の可能性がありますので、本校HPを定期的にご確認ください。

Q4. 外部で行う入試説明会は何回ありますか。

- A. 外部での説明会は、6月28日（日）14時から八潮（八潮メセナアネックス）、7月18日（土）10時から柏の葉キャンパス（柏の葉カンファレンスセンター）、7月19日（日）10時からつくば（つくば国際会議場）、8月1日（土）10時から北千住（シアター1010）で行う予定です。教育内容の

説明はもちろんのこと、学校紹介動画の上映などがあります。説明会の後には、個別相談も行っています。また、6月7日（日）には流山おおたかの森（スターズおおたかの森ホール）で外部から講師を招いて特別講演を10時から行う予定です。学校内で行う入試説明会と同様に、事前の申込みが必要になるのでご注意ください。今後の情勢次第で変更の可能性がありますので、本校HPを定期的にご確認ください。

Q5. 学校に駐車場はありますか。

- A. あります。説明会や入試当日などは校内の駐車場を開放します。ただし、駐車スペースに限りがありますので、できるだけ電車やバスなどの公共交通機関をご利用ください。なお、7月のオープンスクールや10月の紫峰祭では開放いたしませんのでご了承ください。

【学校生活について】

Q1. 始業時刻・下校時刻は何時ですか。

- A. 始業時刻は8時30分です。教室には7時00分から入れます。生徒たちは、早く登校して朝学習や朝読書を行っています。最終下校時刻は、水曜日は17時、土曜日は15時30分、それ以外は18時です。なお、届け出によって放課後の延長学習が認められます。部活動も大会前の練習などが許可制によって延長できます。

Q2. 取手駅から学校までの通学手段はどうなっていますか。

- A. 生徒には徒歩通学を勧めています。JR常磐線の取手駅から路線バスが出ていますので、その利用もできます。

Q3. 土曜日に授業はありますか。

- A. 基本的には隔週で授業があります。それ以外には体育祭や紫峰祭などの行事が入ることがあります。

Q4. 小学校は給食でしたが、江戸取はどうなっていますか。

- A. 給食はありません。お弁当を持参する生徒が多いですが、校内に食堂があり朝7時00分から8時20分まで、昼休み、授業後から17時30分（※水曜日の放課後営業はありません）まで営業しています。朝はパンなどの軽食、昼食時はパン・弁当・軽食・定食、夕食時は、軽食・定食などを購入することができます。コミュニティホールというカフェテリアがあり、そこで食事をとることができます。

Q5. 1クラスの人数はどのくらいですか。

- A. 原則40人以内です。

Q6. 男女の人数の比はどれくらいですか。

- A. 男女比については、2026年度は、中等部全体で男子が約50.3%、女子が約49.7%となっています。

Q7. 1学年は何クラスですか。

- A. 中等部は現在8クラスです。

Q8. クラス替えは毎年ありますか。

- A. あります。なお、上述の通り、条件を満たせばコース異動も可能です。

Q9. 理系・文系にはいつ分かりますか。

- A. 現在は高校2年から理系か文系の選択をすることになります。

Q10. 理系・文系比率はどのくらいですか。

- A. およそ6（理）：4（文）の割合です。なお、医科コースを除くと、およそ5：5の割合になります。

Q11. 携帯電話は持ち込めますか。

- A. 携帯電話は登録制となっています。自己管理を原則として、鍵がかけられるロッカーに保管することになります。校内では指定場所以外での使用は原則禁止です。校外での使用は、公共の場所であることを踏まえ、社会通念上のルール・マナーに則った使用（歩きスマホをしない等）を指導しています。

Q12. 教科の年間指導計画はありますか。

A. 各科目・各学年の学習内容がまとめられているシラバスが、入学後に本校のホームページ上で自由に閲覧できます。

Q13. 授業についていけない生徒にはどのように対応してくれますか。

A. 日頃の授業で小テストを行い、力のついていない生徒には教科担当ごとに追試や補習等を行っています。

Q14. 学習塾に通う必要はありますか。

A. 必要ありません。学校での授業の予習・復習・宿題をすることで十分な学力が身に付きます。放課後にはアフタースクール（有料※一部講座無料）や学習会などがあります。

Q15. 英会話の授業には特色がありますか。

A. ネイティブスピーカーの教師3名が英会話の授業を担当しています。各学年とも英会話は週1コマあり、英語のみで授業を行っています。また、ESS（英会話同好会）も精力的に活動しています。

Q16. アフタースクールとはどのようなものですか。

A. 放課後または夏期休暇中に実施している課外講座です。大学受験に直結した講座や授業内容を定着させるための学習講座、英語4技能講座、高大連携講座、キャリア教育系講座、芸術系講座など生徒たちの多様性や個性的な能力の開発に資する講座などが設定されています。本校HPから申し込むことができ、受講料は受益者負担（プリント代や空調費など）程度できわめて安価です。

Q17. 部活動と学習の両立は可能ですか。

A. 本校には、運動部が18部、文化部が8部、同好会が18団体の計44団体あり、毎年中高生ともに約7割の生徒たちが参加しています。仲間と切磋琢磨することが、学業にも大いに活かされており、部活動に熱心に取り組む生徒ほど、しっかりと両立することができています。無理に入部する必要はありませんが、部活動に参加し文武両道を目指して頑張ることで学習効果が高まります。

Q18. 部活は毎日ありますか。朝練はありますか。

A. 活動日は部によって異なります。アフタースクールなどもありますので、自分の出られる曜日に参加すればよいです。朝練は原則ありませんが、自主練で活動している部活もあります。

Q19. 高等部に進学するのに試験はありますか。

A. 選抜試験は行われません。医科コース及び東大コースへは本人の希望と成績をもとにコース選抜が行われます。基本的には全員が高等部に進学しますが、学習意欲が著しく欠ける生徒や生徒指導上問題のある生徒はその限りではありません。

Q20. 学校カウンセラーはいますか。

A. スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーがいます。大きな悩みだけではなく、学校生活への不安などについて気軽にカウンセリングを受けることができます。ご希望があれば生徒のみならず保護者のカウンセリングも行っています。

Q21. 学校の様子を知るにはどうすればよいですか。

A. ホームページもしくは公式LINEや公式インスタグラムで積極的に情報発信をしています。ここでは、学校案内に載っていない最新情報などを見ることができます。

Q22. 学校から保護者への連絡ツールはありますか。

A. 江戸取では、一斉配信メールや、クラウドサービスのClassiを利用して、保護者の方へ様々な事柄をお知らせしています。

Q23. 災害時には学校に泊られますか。

A. 泊られます。本校は地域の方々のための避難所に指定されています。江戸取には非常時用の乾パン、飲料水（ペットボトル）、毛布などを保管してあります。全生徒分の「防災備蓄品（個人用非常時持ち出しセット）」を購入しています。

Q24. 学校でかかる費用について教えてください。

A. 主な費用は以下の通りです。(2)以降は2026年度実績です。

(1) 入学納入金と学費(2027年度)

入学納入金		入学後の毎月の納入金	
入 学 金	250,000 円	授 業 料	33,000 円
施 設・設 備 費	200,000 円	維 持 費	18,000 円
		後 援 会 費	500 円
		生 徒 会 費	500 円
計	450,000 円	計	52,000 円

※寄付金は任意です。

(2) 宿泊行事費用

中 1: 研修旅行費 約 54,000 円

中 2: 長野探究学習費 約 55,000 円

中 3: 修学旅行費 約 160,000 円

(3) 校外学習費(中1・中2) 各約 10,000 円

(4) 学校規定品(制服一式・カバン・体育着・シューズなど必需品一式)

男子: 約 150,000 円 女子: 約 160,000 円

(5) 教材費(技術家庭、美術の教材等を含む) 各学年約 20,000 円

(6) iPad使用にかかる費用・デジタル教材費(3年間分) 約 170,000 円

(7) オーディトリウムイベント費(3年間分) 約 24,000 円

(8) 日本スポーツ振興センター会費(3年間分) 約 1,400 円

(9) 模試費(3年間分) 約 44,000 円

(10) その他(生徒手帳、名札、ゴム印など) 約 5,000 円

Q25. 後援会とはどのような組織ですか。また、保護者会などの集まりはありますか。

A. 後援会とは生徒の学生生活の充実や学内教育施設の充実などを図ることを目的とした、本校生徒の保護者が会員となる組織です。年1回、総会が開催され、参加をお願いしていますが、不参加の場合は委任状を提出することで議決を委任することができます。

Q26. 自転車通学についてはどうなっていますか。

A. 許可制です。茨城県在住であることと、学校から2.5km以上離れていることが基本的な条件です。県外在住者に関しては、個別に対応します。なお、中学生・高校生ともに、ヘルメット着用(安全協会SGマーク入り)が義務づけられています。

【出願に関して】

Q1. 学校案内・入学試験要項はどこで手に入りますか。

A. 本校事務室でお渡ししています。また、江戸取のホームページにPDFファイルを掲載しています。入試説明会でも配布しておりますので、ぜひご参加ください。

Q2. 出願の方法はどのようになっていますか。

A. インターネット出願となります。詳細は入学試験要項及び江戸取のホームページの「入試情報」内にある「入学試験要項」をお読みください。出願受付開始前に本校ホームページ上で詳細をご案内いたします。なお、1月25日入試と2月5日入試に関しましては、それ以前の入試と出願開始日がそれぞれ異なりますので注意して下さい。

Q3. 受験の書類に願書以外に必要なものはありますか。

A. インターネット出願の際に願書に写真データをアップロードしていただきます。登録できる写真のファイル形式はJPEG形式、またはPNG形式の画像データとなり、ファイルサイズは3MBまでとなっています。ファイルサイズが3MBを超える場合はファイルの圧縮またはトリミングを行い、ファイ

ルサイズを小さくしてから登録してください。また、後述します「英語型入試」を希望する受験生は、インターネット出願ページ内の「英語学習履歴書」の入力、及び英検などの検定試験の級やスコアの証明書を添付し、送付していただきます。なお、調査書などの小学校からの書類は不要です。

Q4. 受験科目はどうなっていますか。

- A. 全ての受験生が、4科目型（国語・算数・理科・社会）と英語型（国語・算数・英語）を選択して受験することができます。また、12月12日は適性型（適性型A・適性型B）入試を受験することも可能です。出願時に選択してください。なお受験科目は、4科目型は、国語・算数（各100点・各50分）、理科・社会（各75点・各40分）となり、英語型は国語・算数（各100点・各50分）、英語（150点・50分、うちリスニング15分程度）となります。適性型入試は適性型A・適性型B（各100点・各50分）です。4科目型と英語型の国語・算数は同一問題です。

Q5. 英語型の英語の試験レベルはどのくらいですか。

- A. CEFR（国際標準規格）でA1～A2「日常生活での基本的な表現を理解し、ごく簡単なやりとりができる英検3級程度」から、「日常生活での身近な事柄について簡単なやりとりができる英検準2級程度」を出題レベルとします。総合的な英語力を試す試験となります。

Q6. 適性型の「適性A」「適性B」はどのような試験ですか。

- A. 適性Aは「文章・資料等を総合的に読み解く。主に読解力・分析力・表現力等を評価する問題」を出題します。
適性Bは「理数的な総合問題を主に出题。発想力や思考力等を評価する問題」を出題します。

Q7. 複数回受験をするほうがよいのですか。

- A. できるだけ複数回受験されることをお勧めいたします。受験料は、1回だけの受験は2万円、複数回受験は受験回数に関わらず、総額3万円です。

Q8. 複数回受験すると優遇措置はありますか。

- A. 入学試験における優遇措置はありません。

Q9. 特待生制度はどのようになっていますか。

- A. 入試成績がきわめて優秀であると判断した生徒に対して特待生として合格発表を行います。A特待は入学納入金と授業料1年間免除で、1年ごとに継続を審査します。B特待は入学納入金の免除です。なお、A特待の基準は、全受験生の平均点を5割としたとき、約8割となります。

Q10. 特待の再チャレンジとはどのようなものですか。

- A. 特待合格できなかった場合には、そのあとの入試でも特待に再チャレンジできます。再チャレンジを希望される場合は、受験を希望する入試回の出願期間中に追加出願をしてください。再チャレンジの出願をされたとしても、入学または延納のお手続きをされない場合、一切の手続きを辞退したものとみなしますのでご注意ください。また、2月5日入試での再チャレンジの場合には**延納の期限である2月5日12時までには必ず入学手続きを完了して下さい**。この日時までに入学手続きをされなかった場合、合格が取り消しとなってしまいます。

【入試当日について】

Q1. 試験会場には何時から入場できますか。

- A. 試験会場には午前7時15分から入場できます。

Q2. 駐車場はありますか。また入試時間中の保護者の控室はありますか。

- A. 駐車場及び保護者控室に関する詳細は、入試日が近づきましたらホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。なお、入試時間中に保護者対象の学校説明会を行っていますので、よろしければご参加ください。

Q3. 遅刻をした場合にはどうなりますか。

- A. 8時40分が集合時間となります。30分（9時10分）までの遅刻は認めますが、試験は残り時間で

受けることになります。時間にはゆとりを持ってご来校ください。

Q4. 受験票や志願者カードを忘れた場合にはどうすればよいですか。

A. 大事な書類になります。忘れないように細心の注意を払ってください。万が一忘れてしまった場合は当日入試本部に申し出てください。

Q5. 体調がすぐれない場合は受験できますか。

A. 保健室での受験が可能です。その場合には、当日入試本部にお申し出ください。試験中に具合が悪くなった場合は、試験監督者にお知らせください。

※新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなどの感染症罹患の場合、その回の受験はできません。別の回での受験をお願いいたします。

Q6. 会場に持ち込んでいけないものはありますか。

A. 電源を切ることのできないキッズ携帯や計算機能などのついた腕時計です。

Q7. 試験問題にラインマーカーなどで印をつけてよいですか。

A. 鉛筆のみで印をつけてください。

Q8. 受験会場に保護者は入れますか。

A. 入れませんので保護者控室でお待ちください。

Q9. 試験の休み時間に軽食を食べることはできますか。

A. 休み時間（15分）に飲食は可能です。他の受験生に迷惑にならないよう配慮をお願いします。

Q10. 入試問題の出題傾向は怎么样了になっていますか。

A. 全体的に基礎的な問題から中程度の問題、難度の高い問題までバランスよく出題していますので、基礎・基本を大切にしながら、過去の問題集等を参考にしてください。なお、コース制を採っておりますので、思考力を問う問題や記述式の問題を増やしています。（出題のバランスはおおよそ、基礎2：標準4：応用4です。）

【合格発表について】

Q1. 合格発表はどこで、どのように行われますか。

A. 本校ホームページから合格発表サイトに進み、確認することができます。その際に、スライド合格や特待合格も分かるように発表します。校内掲示は行いません。

Q2. 合格者の男女の比率は怎么样了になっていますか。

A. 男女関係なく、総合得点による合否判定となりますので、合格者の比率は受験生の男女の人数や成績によって変わります。

Q3. 足切りはありますか。

A. 科目ごとの足切りはありません。

Q4. 合格後の入学手続きはどのように行いますか。

A. 昨年度から、全てネット上で手続きが行えるようになりました。入学手続きは本校ホームページの合格発表サイトから入学納入金決済サイトに進み、手続き期間内に入学納入金の45万円をお支払いいただき、同じく合格発表サイトから「誓約書」に必要事項を入力してください。

Q5. 合格後の延納手続きはどのように行いますか。

A. 昨年度から、全てネット上で手続きが行えるようになりました。延納手続きは本校ホームページの合格発表サイトから入学納入金サイトに進み、手続き期間内に延納金の5万円をお支払いください。その後、入学手続きを行う場合は、2月5日（金）12時までに合格発表サイトから入学納入金サイトへ進み、延納分の40万円をお支払いいただき、同じく合格発表サイトから「誓約書」に必要事項を入力してください。

【**新入生登校日について**】

Q1. 入学前に登校日はありますか。

- A. 2月11日（木・祝）と、4月上旬の入学式前の計2回を予定しております。2月11日は受験生と保護者の方にご来校していただき、教育委員会や小学校に提出する「入学承認書」などの必要書類をお渡しします。4月上旬は新入生のための登校となり、クラス発表と教材配布、入学式の予行などを行います。詳細は合格書類の中に含まれるご案内を参照していただければと思います。

Q2. 制服採寸や学校規定品の申し込みはいつですか。

- A. 1月31日（日）と2月7日（日）、新入生登校日の2月11日（木・祝）の3回になっております。詳細は合格書類の中に含まれるご案内を参照していただければと思います。

※障がい等があり、受験上の配慮や入学後の修学上の配慮等を必要とする場合、本校では希望する対応が難しいこともあるため、出願を考えている場合には、必ず事前にご相談ください。その他、ご不明な点は中等部入試広報部にお問い合わせください。

TEL (学校代表電話) : 0297 (74) 8771

2026年度12月13日入試(適性型)結果

中等部12月13日入試(適性型)の結果についてお知らせします。

入試結果は、以下の通りとなりました。

- ・応募者数は534名、受験者数は519名(欠席15名)、合格者数は121名でした。
- ・特待合格者は、A特待3名、B特待3名でした。
- ・合格基準は各コースとも男女同一であり、いっさい差はありません。
- ・適性型入試は適性型A(100点)、適性型B(100点)により合否判定を行っています。

1. 入試結果一覧

項目	東大ジュニアコース			医科ジュニアコース			難関大ジュニアコース		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計
応募者数	120	96	216	53	78	131	101	86	187
受験者数	116	91	207	52	77	129	242 (スライド 144 含)	230 (スライド 145 含)	472 (スライド 289 含)
合格者数	19	7	26	5	16	21	41 (スライド 27 含)	33 (スライド 22 含)	74 (スライド 49 含)
倍率	8.0			6.1			6.4		

2. 入試成績一覧

項目	東大ジュニアコース			医科ジュニアコース			難関大ジュニアコース		
	適正A	適正B	合計	適正A	適正B	合計	適正A	適正B	合計
受験者平均点	50.1	61.9	112.0	48.6	61.3	109.9	45.8	51.1	96.9
合格者平均点	69.0	81.0	150.0	64.0	78.3	142.4	66.0	71.0	137.0
教科別最高点 (合格者最低点)	85	98	165 (142)	79	95	166 (132)	84	90	151 (127)

2026年度1月9日入試結果

中等部1月9日入試の結果についてお知らせします。

入試結果は、以下の通りとなりました。

- ・応募者数は857名、受験者数は815名（欠席42名）、合格者数は376名でした。
- ・特待合格者は、A特待17名、B特待23名でした。
- ・4科目型入試は、応募者822名、受験者784名、合格者は369名（東大130名、医科67名、難関172名（スライド93名含））でした。
- ・英語型入試は、応募者35名、受験者31名、合格者は7名（東大0名、医科2名、難関5名（スライド4名含））でした。なお、合否判定は「英語学習履歴書」等を含めた総合判定となります。
- ・合否判定は受験型ごとに行っています。
- ・合格基準は各コースとも男女同一であり、いっさい差はありません。
- ・4科目型入試は全て総合得点による合否判定となっています。

1. 入試結果一覧

項目	東大ジュニアコース			医科ジュニアコース			難関大ジュニアコース		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計
応募者数	233	153	386	84	111	195	157	119	276
受験者数	227	147	374	82	100	182	336 (スライド190含)	280 (スライド167含)	616 (スライド357含)
合格者数	85	45	130	34	35	69	103 (スライド55含)	74 (スライド42含)	177 (スライド97含)
倍率	2.9			2.6			3.5		

2. 入試成績一覧

- ・各教科配点は、以下のようになります。
- ・4科目型入試 合計350点、国語100点、算数100点、理科75点、社会75点
- ・英語型入試 合計300点、国語100点、算数100点、英語100点

4科目型

項目	東大ジュニアコース					医科ジュニアコース					難関大ジュニアコース				
	国語	算数	理科	社会	合計	国語	算数	理科	社会	合計	国語	算数	理科	社会	合計
受験者平均	65.9	62.0	46.9	61.4	236.2	60.6	58.7	44.1	59.7	223.1	58.2	54.9	40.9	57.4	211.4
合格者平均	76.8	75.4	57.2	65.7	275.1	71.1	71.0	53.5	65.3	260.9	70.1	68.4	51.6	63.9	253.9
教科別 最高点 (合格 最低点)	100	100	71	75	310 (255)	90	100	69	75	323 (239)	92	85	64	75	299 (233)

2026年度1月17日入試結果

中等部1月17日入試の結果についてお知らせします。

入試結果は、以下の通りとなりました。

- ・応募総数は753名、受験者総数は593名（欠席160名）でした。
- ・特待合格者は、A特待7名、B特待11名となります。
- ・4科目型入試は、応募者723名、受験者566名、合格者は158名（東大44名、医科28名、難関89名（スライド71名含））でした。
- ・英語型入試は、応募者30名、受験者27名、合格者は3名（東大0名、医科2名、難関1名（スライド1名含））でした。なお、合否判定は「英語学習履歴書」等を含めた総合判定となります。
- ・合否判定は受験型ごとに行っています。
- ・合格基準は各コースとも男女同一であり、いっさい差はありません。
- ・4科目型入試は全て総合得点による合否判定となっています。

1. 入試結果一覧

項目	東大ジュニアコース			医科ジュニアコース			難関大ジュニアコース		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計
応募者数	195	126	321	76	101	177	141	114	255
受験者数	147	100	247	64	82	146	275 (スライド169含)	246 (スライド152含)	521 (スライド321含)
合格者数	31	13	44	11	17	28	50 (スライド40含)	39 (スライド31含)	89 (スライド71含)
倍率	5.6			5.2			5.9		

2. 入試成績一覧

- ・各教科配点は、以下のようになります。
- ・4科目型入試 合計350点、国語100点、算数100点、理科75点、社会75点
- ・英語型入試 合計300点、国語100点、算数100点、英語100点

4科目型

項目	東大ジュニアコース					医科ジュニアコース					難関大ジュニアコース				
	国語	算数	理科	社会	合計	国語	算数	理科	社会	合計	国語	算数	理科	社会	合計
受験者平均	72.8	60.6	46.3	56.6	236.3	70.4	56.2	42.2	54.5	223.4	67.0	51.4	38.2	50.9	207.5
合格者平均	80.7	76.7	57.2	63.8	278.4	76.8	74.4	55.1	60.8	267.1	77.4	72.5	51.8	58.7	260.4
教科別 最高点 (合格 最低点)	93	97	65	73	299 (267)	91	87	66	69	303 (254)	93	84	65	66	280 (248)

2026年度1月25日入試結果

中等部1月25日入試の結果についてお知らせします。

入試結果は、以下の通りとなりました。

- ・応募総数は403名、受験者総数は346名（欠席57名）でした。
- ・特待合格者は、A特待2名、B特待4名となります。
- ・4科目型入試は、応募者390名、受験者333名、合格者は71名（東大23名、医科15名、難関33名（スライド17名含））でした。
- ・英語型入試は、応募者13名、受験者13名、合格者は2名（東大0名、医科0名、難関2名（スライド1名含））でした。なお、合否判定は「英語学習履歴書」等を含めた総合判定となります。
- ・合否判定は受験型ごとに行っています。
- ・合格基準は各コースとも男女同一であり、いっさい差はありません。
- ・4科目型入試は全て総合得点による合否判定となっています。

1. 入試結果一覧

項目	東大ジュニアコース			医科ジュニアコース			難関大ジュニアコース		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計
応募者数	99	65	164	46	56	102	65	72	137
受験者数	79	56	135	40	50	90	157 (スライド 98含)	151 (スライド 89含)	308 (スライド 187含)
合格者数	13	10	23	8	7	15	16 (スライド 7含)	19 (スライド 11含)	89 (スライド 18含)
倍率	5.9			6.0			8.8		

2. 入試成績一覧

- ・各教科配点は、以下のようになります。
- ・4科目型入試 合計350点、国語100点、算数100点、理科75点、社会75点
- ・英語型入試 合計300点、国語100点、算数100点、英語100点

4科目型

項目	東大ジュニアコース					医科ジュニアコース					難関大ジュニアコース				
	国語	算数	理科	社会	合計	国語	算数	理科	社会	合計	国語	算数	理科	社会	合計
受験者平均	57.8	49.8	47.9	52.9	208.4	56.1	46.9	44.8	49.7	197.5	54.4	44.9	41.7	48.9	190.1
合格者平均	70.3	62.4	57.8	60.5	251.0	65.7	64.6	56.8	56.6	243.7	72.0	60.1	53.9	54.9	240.9
教科別 最高点 (合格 最低点)	82	79	69	70	269 (239)	79	79	64	70	263 (234)	80	87	66	64	264 (227)

2026年度2月5日入試結果

中等部2月5日入試の結果についてお知らせします。

入試結果は、以下の通りとなりました。

- ・応募総数は194名、受験者総数は164名（欠席30名）でした。
- ・特待合格者は、A特待0名、B特待4名となります。
- ・4科目型入試は、応募者185名、受験者157名、合格者は90名（東大26名、医科16名、難関48名（スライド27名含））でした。
- ・英語型入試は、応募者9名、受験者7名、合格者は2名（東大0名、医科1名、難関1名（スライド0名））でした。
なお、合否判定は「英語学習履歴書」等を含めた総合判定となります。
- ・合否判定は受験型ごとに行っています。
- ・合格基準は各コースとも男女同一であり、いっさい差はありません。
- ・4科目型入試は全て総合得点による合否判定となっています。

1. 入試結果一覧

項目	東大ジュニアコース			医科ジュニアコース			難関大ジュニアコース		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計
応募者数	44	27	71	22	29	51	38	34	72
受験者数	36	23	59	17	25	42	63 (スライド30含)	58 (スライド28含)	121 (スライド58含)
合格者数	15	11	26	8	9	17	22 (スライド11含)	27 (スライド16含)	49 (スライド27含)
倍率	2.3			2.5			2.5		

2. 入試成績一覧

- ・各教科配点は、以下のようになります。
- ・4科目型入試 合計350点、国語100点、算数100点、理科75点、社会75点
- ・英語型入試 合計300点、国語100点、算数100点、英語100点

4科目型

項目	東大ジュニアコース					医科ジュニアコース					難関大ジュニアコース				
	国語	算数	理科	社会	合計	国語	算数	理科	社会	合計	国語	算数	理科	社会	合計
受験者平均	69.5	57.6	55.7	54.3	237.1	68.3	57.2	52.4	50.2	228.0	64.1	49.0	48.1	45.8	207.0
合格者平均	75.3	67.0	60.3	58.4	261.1	75.3	66.6	57.4	56.3	255.6	72.8	57.0	57.5	54.1	241.4
教科別 最高点 (合格 最低点)	92	85	73	69	288 (242)	90	77	70	67	282 (241)	89	73	73	70	283 (224)



中等部入試説明会（江戸川学園取手高等学校）

詳細は本校ホームページでご案内いたします。ホームページ上からお申込みが必要です。

説明会開催日	会 場	時 間
4月25日(土)	本校オーデトリウム大ホール ※入試報告会(授業・施設見学も可)	10時～11時40分
6月7日(日)	スターツおおたかの森ホール ※特別講演 ※実験教室	10時～11時40分
6月28日(日)	八潮メセナアネックス	14時～15時40分
7月12日(日)	本校オーデトリウム大ホール (施設見学も可)	9時～11時
7月18日(土)	柏の葉カンファレンスセンター	10時～11時40分
7月19日(日)	つくば国際会議場	10時～11時40分
8月1日(土)	北千住 シアター1010	10時～11時40分

塾の先生方対象の説明会
6月18日(木) 10時30分～12時10分

オープンスクール 7月4日(土)
※詳細はホームページでご案内いたします。

説明会開催日	会 場	時 間
9月12日(土)	本校オーデトリウム大ホール (希望の方：授業・施設見学・個別相談有)	9時50分～12時10分
9月23日(水・祝日)	本校オーデトリウム大ホール (希望の方：施設見学・個別相談有)	9時～11時
10月17日(土)	本校オーデトリウム大ホール (江戸取生による説明・施設見学)(個別相談有)	9時50分～12時10分
10月31日(土)	本校オーデトリウム大ホール (希望の方：授業・施設見学・個別相談有)	9時50分～12時10分
12月6日(日)	本校オーデトリウム大ホール (施設見学も可)	9時～11時

紫峰祭 10月10日(土)・11日(日) ※詳細はホームページでご案内いたします。



本校での説明会（オーデトリウム大ホール）

受験生と保護者の皆様へ

最新の情報は、本校ホームページでご案内いたします。

参加を希望される場合、**本校ホームページよりお申込みが必要です。**

ご質問等ございましたら、下記の入試担当まで、お問い合わせください。

受験生の皆様が、来春、志望する中学校で新生活をスタートされますことを心より応援しております。

江戸川学園取手中学校
電話 0297-74-8771

■ 中等部入試担当

遠藤・熊代・鈴木・瀬崎・中村・堂園・古橋・山田



本校 大ホール 1300席

※ご出席の際にはスリッパをご持参ください。



